



目次

はしがき	2
本書の特長	4
本書の構成と表記	6
本書の使用方法	8
特講 イメージでゲット！前置詞・副詞	9

Part I 公立編 15

Group 1	中1レベル	16
Group 2	中2レベル	30
Group 3	中3レベル①	48
Group 4	中3レベル②	68
Checkup	対話文完成・同意文完成	88

Part II 私国立編 111

Group 1	中堅私立レベル	112
Group 2	難関私国立レベル①	128
Group 3	難関私国立レベル②	144
Checkup	同意文完成・誤文訂正	160

Part III 総括整理編 191

INDEX	203
-------	-----



本書の特長

本書は、5つの視点と工夫で熟語を徹底的に整理した点が特長です。ゴールに最適化した学習内容を「選択」し、そこに「集中」することで、最大限の学習効果を狙います。

① ゴール別
3パート

特講 イメージでゲット！前置詞・副詞

Part I 公立編	1	中1レベル
	2	中2レベル
	3	中3レベル①
	4	中3レベル②
	★	Checkup
Part II 私国立編	1	中堅私立
	2	難関私国立①
	3	難関私国立②
	★	Checkup
Part III		総括整理編

② 段階別
7グループ

③ 機能別
10カテゴリー

④ パート別
Check問題

③ 機能別 10カテゴリー

VI: 動詞句

VT: 動詞句（目的語が続く）

BE: be動詞句

AJ: 形容詞句

AV: 副詞句

PR: 前置詞句

VB: to不定詞や～ingが続く

AB: 対比的内容を含むもの

GR: その他文法関連表現

CL: 対話・慣用表現・その他

特長1 3パート

Part I 公立編	公立入試の専用の英文コーパスを作成し、標準レベルの熟語300を精選しました。
Part II 私国立編	私国立入試用の専用英文コーパスを作成。典型的な英文で、実戦に即応できる力を養成します。
Part III 総括整理編	意味・形態・機能で熟語を再分類。重要表現も補充して、理解を深化・拡張します。

特長2 7グループ

公立・私国立の480語は、頻度と導入時期により、4+3の7グループに配置。中1・2レベルの英文は、各学年での文法事項限定のため、学習段階に応じた範囲設定が可能です。

特長3 10カテゴリー

文中での機能や前後との接続関係の理解は、文法学習の根幹かつ読解力の礎です。本書では機能別10カテゴリーにより、得点に直結した理解を最短距離で目指します。

特長4 パート別 Checkup

同意表現は英文で具体的に理解するのがベストです。さらに公立編には対話文完成を、私国立編には誤文訂正を加え、入試の典型問題を用いて実戦即応力を高めます。

特長5 理解への工夫

特講 イメージでゲット！前置詞・副詞 (p.9～14)

前置詞・副詞は熟語を理解するカギです。イラスト、例文、解説を繰り返し読んで、イメージを頭に刻み込んでください。



本書の構成と表記

公立編 Group1 ~ 4, 私国立編 Group1 ~ 3

見出しID

見出し語

(左ページ)

001 □ get up

[起きる]

■ 「起き上がる, 立ち上がる」の意味もある。

解説

見出し語訳

公立編 Checkup (対話文完成)

(左ページ)

00 □ A: I'm American. What country are you **from** ?

B: I'm Japanese. But I live in Australia now.

ID17

対話文

暗記用シートで消えた部分に単語を入れて、対話文を完成させます。

解答ID

解答となる見出し語のIDを表示します。

公立編・私国立編 Checkup (同意文完成)

(左ページ)

00 □ She always takes a bus to go to school.

■ She always goes to school **by bus**.

ID31

英文

上の文とほぼ同じ意味になるように、下の文の暗記用シートで消えた部分に単語を入れます。

解答ID

解答となる見出し語のIDを表示します。

私国立編 Checkup (誤文訂正)

(左ページ)

02 □ My father came in his room with a few book after he drank a little coffee.

■ 1語、形をかえる。

ID99

英文

日本語の指示にしたがって、上の英文を正しい英文にかえます。

解答ID

カギとなる見出し語のIDを表示します。

● 見出しID

● 例文・
例文訳

見出し語は赤で表示し、単語ごとに下線がついています。右を隠せば訳のチェックに、左を隠せばつづりのチェックに使えます。

(右ページ)

00 □ I get up at six every morning.

私は毎朝、6時に起きる。

● 対話文訳

● 解説

(右ページ)

0 □ A: 私はアメリカ人です。あなたはどの国の出身ですか。
B: 私は日本人です。でも今はオーストラリアに住んでいます。

どこの国の出身かが話題になっている。

☞ ID14: come from ~

● 参照用 ID 関連事項のIDを示します。

● 英文訳

● 解説

(右ページ)

(31) □ 彼女はいつも学校に行くためにバスに乗る。
☑ 彼女はいつもバスで学校に行く。

「学校に行くためにバスに乗る」=「バスで学校に行く」

☞ ID336: on foot

● 参照用 ID 関連事項のIDを示します。

● 英文訳

● 解説

(右ページ)

(42) □ 私の父は少しコーヒーを飲んだあとで、数冊の本を持って自分の部屋に入っていた。
☑ book → books

a few ~ は数えられる名詞の複数形を修飾するので、book が単数形なのはおかしい。

☞ ID90: a little (~)

● 解答

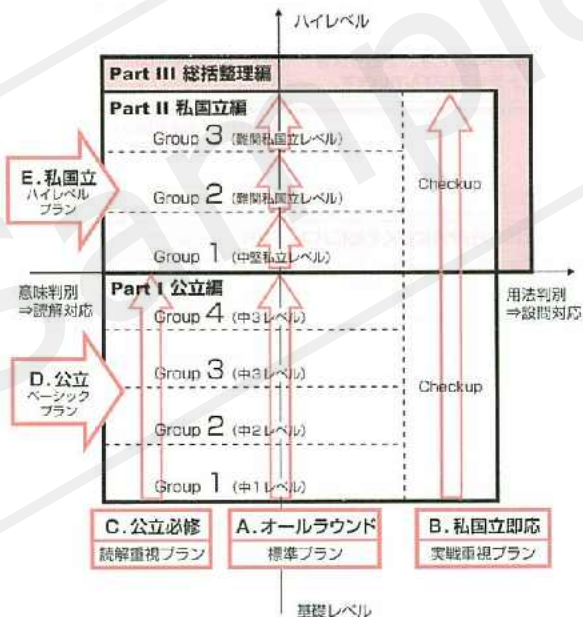
● 参照用 ID 関連事項のIDを示します。



本書の使用法

本書は基本事項からレベルアップしていく構成になっていますので、前から順に学習を進めるのが標準的な利用法です。しかし、下の列のようにゴール（目標校）や学習したい内容に即して細かな範囲設定もできるようになっています。学習期間や時期などにも考慮して、最適の学習計画を立ててください。

- A. オールラウンド標準プラン： 和⇄英でしっかり記憶（ゴール別に範囲設定）
- B. 私国立即応実践重視プラン： Checkup限定で実戦力チェック
- C. 公立必修読解重視プラン： Part I 公立編（英→和）に限定
- D. 公立ベーシックプラン： Part I 公立編に限定（英→和、和→英）
- E. 私国立ハイレベルプラン： Part II 私国立編に限定（英→和、和→英）



📍… 基本的な意味

📍… 用法・関連事項

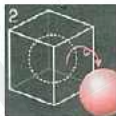
1 in 📍 2 out

📍 基本的な意味 ~の中に[で、の] 📍 外に[で、へ]

- ▶ There is a ball **in** the box.
箱の中にボールがある。
- ▶ I go **out** with my friend on Saturdays.
私は毎週土曜日に友達と外出する。
- 📍 in はある囲まれた範囲の内側に入った状態を表し, out は「中」に対する「外」という方向や位置を表す。
- 📍 in October (10月) のように、「ある期間内」であることを表したり, be in a hurry (急いでいる) のように、「ある状態の中」にある様子も表せる。また, in two days (2日したら) のように時の経過を表すときにも使われる。out は前置詞句 out of ~ (~から外へ) の形でよく使われる。



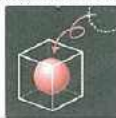
↓



3 into

📍 基本的な意味 ~の中へ[に]

- ▶ The boy looked **into** the box.
その少年は箱の中をのぞきこんだ。
- 📍 外から中に入っていき動きや方向を表す。
- 📍 turn into ~ (~になる) のように, 変化・推移も表せる。



4 on 📍 5 off

📍 基本的な意味 ~の上に[で、の] 📍 ~から(離れて)

- ▶ I turned **on** the light.
私は明かりをつけた。
- ▶ I turned **off** the light.
私は明かりを消した。
- 📍 on は上下左右にかかわらず表面に接している状態を表し, off は接触状態(on)から離れること, 離れている様子を表す。
- 📍 on May 7, 2013 (2013年5月7日) のように特定の日や put on a hat (ぼうしをかぶる) のように身につける様子も表せる。put out ~ は「(火などを)消す」という意味。



↓

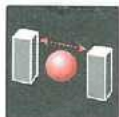


6 between 【基本の意味】 ～の間に【で】

- ▶ There is a difference **between** us.
私たちには違いがある。

📌 別々の2つのものの間を表す。

★ **between A and B**(AとBの間)のような形で用いられることが多い。



7 among 【基本の意味】 ～の間に【で】

- ▶ I found the lake **among** the trees.
私は木々に囲まれた湖を見つけた。

📌 集合体の中に囲まれていることを表す。

★ **between** は個々を意識しているのに対し、**among** はまとまった3つ以上の中に存在するという意味合いが強い。



8 above 【基本の意味】 ～の上に【の】

- ▶ The sun rises **above** the mountain.
太陽が山の上に昇る。

📌 表面から離れた上方を表す。

★ **above** は真上を含む広い範囲の上方を表す。それに対し **over** は真上や覆いかぶさる感じを表す。**above** の反対の前置詞は **below**(～の下方に)。

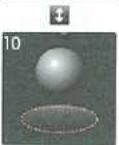


9 over 【基本の意味】 ～の上に 【基本の意味】 ～の下に

- ▶ Please put this cloth **over** the table.
この布をテーブルにかけてください。
- ▶ I like to read a book **under** the tree.
私は木の下で本を読むのが好きだ。

📌 **over** は真上、覆いかぶさるような感じを表し、**under** は **over** の反対の意味で、真下、覆われるような感じを表す。どちらも表面と接触していてもよい。

★ **over** は、**jump over** ～ (～を飛び越える) のように、何かを「越える」という意味でも使われ、さらに「～以上」 (= **more than** ～) という意味へとつながる。



11 up 12 down

【基本の意味】 ~の上へ【に】 ~の下へ【に】

- ▶ We went **up** the mountain.
私たちはその山を登った。
- ▶ We went **down** the mountain.
私たちはその山をくだった。

📍 up は上への動きや方向を表す。down は up の反対の意味で、下への動きや方向を表す。

📍 話し手のほうへ近づいてくるときに up、離れていくときに down を使うこともある。



13 across

【基本の意味】 ~を横切って

- ▶ I walked **across** the road.
私は道路を歩いて渡った。

📍 平面的なものを横切ることを表す。

📍 a store across the street (通りの向こう側にある店) のように「~の向こう側に」という意味でも使われる。



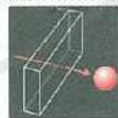
14 through

【基本の意味】 ~を通り抜けて

- ▶ I walked **through** the woods.
私は森の中を歩いて通り抜けた。

📍 何かを買っていることを表す。

📍 何かを通り抜けるときには across ではなく through を使う。また、「~中」と期間を表すときや「~を通して」と仲介を表すときにも使われる。



15 along

【基本の意味】 ~に沿って

- ▶ I walked **along** the street.
私は通りを歩いた。

📍 細長いものに沿っている様子を表す。

📍 例文のように、道路の上に沿っている場合や、There are trees all along the street. (道路づたいにずっと木がある) のように道路の外側に沿っている場合にも使う。

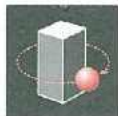


16 around 基本の意味 ～の周りに[を]

- ▶ The dog ran **around** the pond.
その犬は池の周りを走った。

📍 何かの周りにあることを表す。

★ show A around B (AにBを案内する)のように「～のあちこちを」という意味でも使われる。



17 from ⇔ 18 to

基本の意味 ～から ⇔ ～の方へ[に]

- ▶ The girl comes **from** China.
その少女は中国出身だ。
- ▶ Please come **to** my house.
私の家へ来てください。

📍 fromは場所や時間の起点や何かの出所を表す。toは場所や時間の到達点や方向を表す。

★ from A to B (AからBまで)のように, from と to をいっしょに使うこともある。また, from は **be different from** ～ (～と異なる)のように区別の意味でも使われる。



⇔

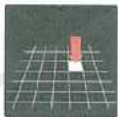


19 at 基本の意味 ～に[で]

- ▶ I met my friend **at** the library.
私は図書館で友達に会った。

📍 場所や時間の一点を表す。

★ arrive at the station (駅に着く)のように, at は比較的狭い場所を表すときに使う。これに対して, arrive in Tokyo (東京に着く)のように, in は比較的広い場所を表す。



20 of 基本の意味 ～の

- ▶ The students **of** the school study English every day.
その学校の生徒たちは毎日英語を勉強する。

📍 所有や所属を表す。

★ be made of ～ (～で作られる)という形もよく見られる。似た表現に be made from ～ があるが, of は材料が原形をとどめている場合, from はとどめていない場合に使う。



21 before ⇄ 22 after

【基本の意味】 ~の前に ⇄ ~のあとに

- ▶ I wash my hands **before** dinner.

私は夕飯の前に手を洗う。

- ▶ I brush my teeth **after** dinner.

私は夕飯のあとに歯を磨く。

📍 before は前を表す。特に時間的に前であるときに使う。
after は時間的にあとであることを表す。

★ 場所的に「前」を表すときは in front of ~ (～の前に) を使うことが多い。after は run after ~ (～を追いかける[求める]) のように目的を表すときにも使われる。



23 during 【基本の意味】 ~の間じゅう

- ▶ We kept talking **during** the night.

私たちは夜通し話し続けた。

📍 ある特定の期間を表す。

★ 特定の期間中ずっとか、その期間のあるときは、文脈によって変わる。同じように期間を表す through は、「期間の始めから終わりまでずっと」という意味。



24 since 【基本の意味】 ~以来[から]

- ▶ He has been busy **since** last Monday.

彼はこの前の月曜日からずっと忙しい。

📍 時間の起点と現在[その時]までの継続を表す。

★ 例文のように「過去のあるとき以来ずっと」という意味で使われ、ふつう現在完了といっしょに用いられる。



25 until[till] 【基本の意味】 ~まで(ずっと)

- ▶ I didn't know about it **until** now.

私はそのことについて今まで知らなかった。

📍 動作の継続の終了時を表す。

★ 肯定文では継続の意味を持った動詞(stay, wait など) とともによく用いられ、否定文では瞬間を表す動詞(arrive, come など) とともによく用いられる。



26 with 27 without

【基本の意味】 ~と(ともに) ~なしに[で]

▶ I drink coffee **with** milk.

私は牛乳入りのコーヒーを飲む。

▶ I drink coffee **without** milk.

私は牛乳の入っていないコーヒーを飲む。

📌 with は伴うこと、同伴を表す。その反対に without は伴うものがないことを表す。

★ with は、eat with a knife and fork(ナイフとフォークで食べる)のように道具や手段を表すときにも使われる。without は without ~ing の形にも注意。



28 against 【基本の意味】 ~に反対して

▶ Are you for or **against** the war?

あなたは戦争に賛成ですか、それとも反対ですか。

📌 反対や対抗を表す。

★ against は「~に対して」や「~を背景にして」という意味でも使われる。例文のように、「賛成」は for で表す。



29 by 【基本の意味】 ~によって

▶ I go to school **by** bike.

私は自転車で学校へ行く。

📌 手段や方法を表す。

★ 「~のそばに[で、の]」のように位置を表す場合や、「~を通過」と通過を表す場合にも使われる。また、「~までに」と期限を表すときにも使われる。



30 for 【基本の意味】 ~のために

▶ The boy is looking **for** his pencils.

その少年は自分のえんぴつを探している。

📌 目的や追求、方向を表す。

★ the bus for Osaka(大阪行きのバス)のように使われたり、時や距離を表す語句とともに用いて「~の間」という意味にもなる。



300+60

Group 1:	中1レベル	60語
Group 2:	中2レベル	80語
Group 3:	中3レベル①	80語
Group 4:	中3レベル②	80語
Checkup:	実践形式	60問

★ 公立高校を目指す人へ

公立高校入試では、①速く正確に読む力、②基本的な表現を適切に使う力の2つが特に重要です。

「意味の確認→空所補充による英文完成→Checkup」の順に学習を進めよう。

★ 私国立高校を目指す人へ

私国立高校の入試問題は、教科書レベルを超える表現と、知識を直接問う設問が多いのが特徴です。300語は当然のこと、Checkup後半の同意文完成までしっかり押さえよう。

VI 動詞句(熟語のあとに目的語が続かないタイプ)

001 **get up** [起きる]

★「起き上がる, 立ち上がる」の意味もある。

002 **go to school** [学校に行く]

★この school は建物そのものを表さず, a や the がつかない。

003 **go straight** [まっすぐ行く]

★この straight は副詞。

004 **stand up** [立ち上がる]

★状態ではなく, 動作を表す。

005 **sit down** [座る, 腰をおろす]

★状態ではなく, 動作を表す。

006 **come home** [家に帰ってくる, 帰宅する]

★この home は「家庭」のような意味で建物のことではない。前に a や the はつけない。

007 **take a picture** [写真をとる]

★picture の代わりに photo, photograph を使うこともある。

008 **go to bed** [寝る, 就寝する]

★「眠る」は sleep。go to bed は「(眠ろうとして)横になる」というぐらいの意味。

- | | | |
|-----|--|-----------------------------|
| 001 | <input type="checkbox"/> I get up at six every morning. | 私は毎朝、6時に <u>起きる</u> 。 |
| 002 | <input type="checkbox"/> Every morning I go to school with my friend. | 毎朝、私は友達と <u>学校に行く</u> 。 |
| 003 | <input type="checkbox"/> Go straight and turn left. | <u>まっすぐ行って</u> 左に曲がりなさい。 |
| 004 | <input type="checkbox"/> Everyone, stand up . | みなさん、 <u>立ち上がりなさい</u> 。 |
| 005 | <input type="checkbox"/> Please sit down . | <u>座ってください</u> 。 |
| 006 | <input type="checkbox"/> You often come home late. | あなたはよく、遅くに <u>家に帰ってくる</u> 。 |
| 007 | <input type="checkbox"/> Please take a picture of us. | 私たちの <u>写真をとって</u> ください。 |
| 008 | <input type="checkbox"/> I go to bed at ten o'clock. | 私は10時に <u>寝る</u> 。 |